



家で使う

タブレットは、学校だけでなく、家に持ち帰って使うこともできます。

家で宿題をしたり、友達と一緒に課題の続きをしたりと、家でタブレットを使うことで、様々な学習を行うことができます。

ここでは、タブレットを家で使うときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

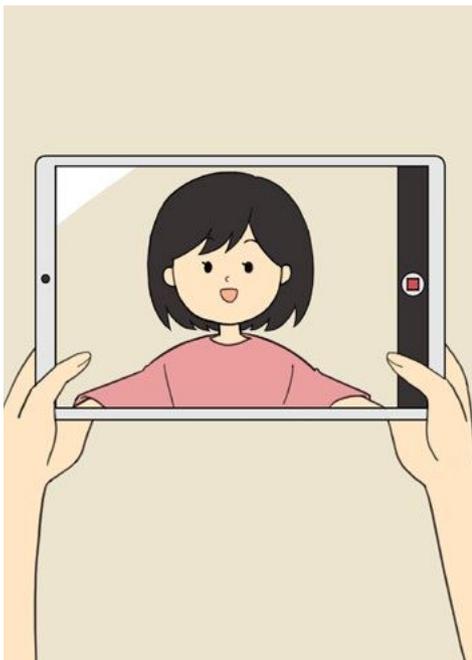
### 最初にチェックしてみよう

- 私は、練習のための動画を上手に撮ることができると思う
- 私は、自分の行動をプログラミングで表すことができると思う
- 私は、「学習の目的」かどうかを判断して使うことができると思う
- 私は、ゲームやSNS以外にも新しくチャレンジしたいことを考えたことがある
- 私は、「家庭のルール」を守って使うことができると思う
- 私は、ゲームをやめたり、勉強をはじめたりする方法について考えたことがある

クラスで、じこしょうかい自己紹介（好きな食べ物とその理由）をする必要があるので、家庭で、じこしょうかい自己紹介の練習を一人ですることになりました。

カメラを使って、自分のじこしょうかい自己紹介を動画にとって、見かえしてみましょう。  
どのように撮ると、こうかてき効果的でしょうか。





★ スキルのポイント

カメラで自分の様子を撮り、ふりかえると様々なことに気づくことができます。しかし、きちんと撮影しないと、ふりかえったときに違う印象を受けてしまいます。

まずは構図です。自己紹介の場合は、顔だけでなく、手も映るような構図で撮るとよいでしょう。

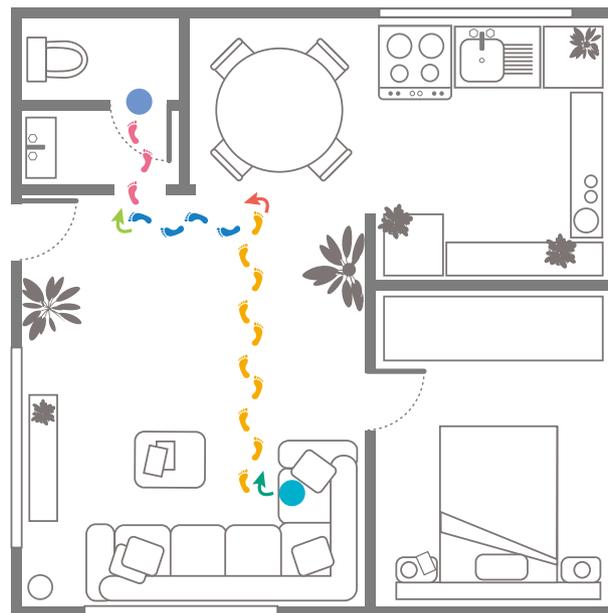
次に明るさです。暗い場所で撮ると、それだけで見た時の印象が変わってきます。できるだけ明るい照明の近くで撮るとよいでしょう。

最後に固定です。カメラを手に持ったまま撮影してしまうと、ブレてしまうので、固定して撮影するようにしましょう。

家の中の行動を細かく**ぶんかい**分解して、書き出してみよう。  
その行動を家族にやってもらったら、うまくできるでしょうか？

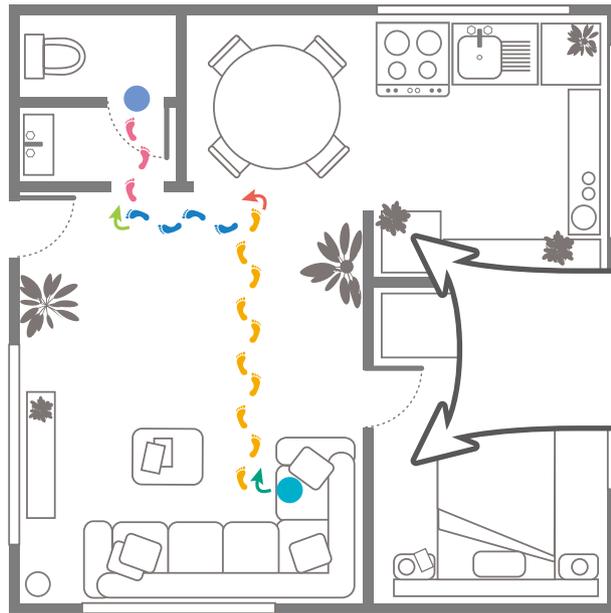
タイトル

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8



**例** リビングのソファからトイレまで移動する いどう

- 1 ソファから立ち上がる
- 2 右を向く
- 3 まっすぐ 10 歩進む
- 4 左を向く
- 5 まっすぐ 4 歩進む
- 6 右を向く
- 7 まっすぐ 3 歩進む
- 8 ドアを開ける



例 **リビングのソファからトイレまで移動する**

- ① ソファから立ち上がる
- ② 右を向く
- ③ まっすぐ1歩進む
- ④ 右を向く
- ⑤ まっすぐ3歩進む
- ⑥ 右を向く
- ⑦ まっすぐ3歩進む
- ⑧ ドアを開ける

ふり返ってみよう

★ スキルのポイント

家族にやってもらう場合には、「少し前」「もうちょっと右」などの声かけは禁止です。

「少し前」と言いたければ、それを「1歩前」などを書いておかなければなりません。まずは自分で何度も試してみましょ

う。また、自分が試したり、家族にやってもらう場合には、安全に気をつけて行いましょう。



## 「学習の目的」と言えるのかな

次の家庭でのタブレットの利用は、「学習の目的」と言えるのでしょうか。  
「学習の目的と言える」と「学習の目的とは言えない」にわけてみましょう。

1  
クラブ活動の練習の  
ために、タブレットでバ  
ドミントンの動画を見た

2  
勉強するときに、  
タブレットで音楽をきい  
た

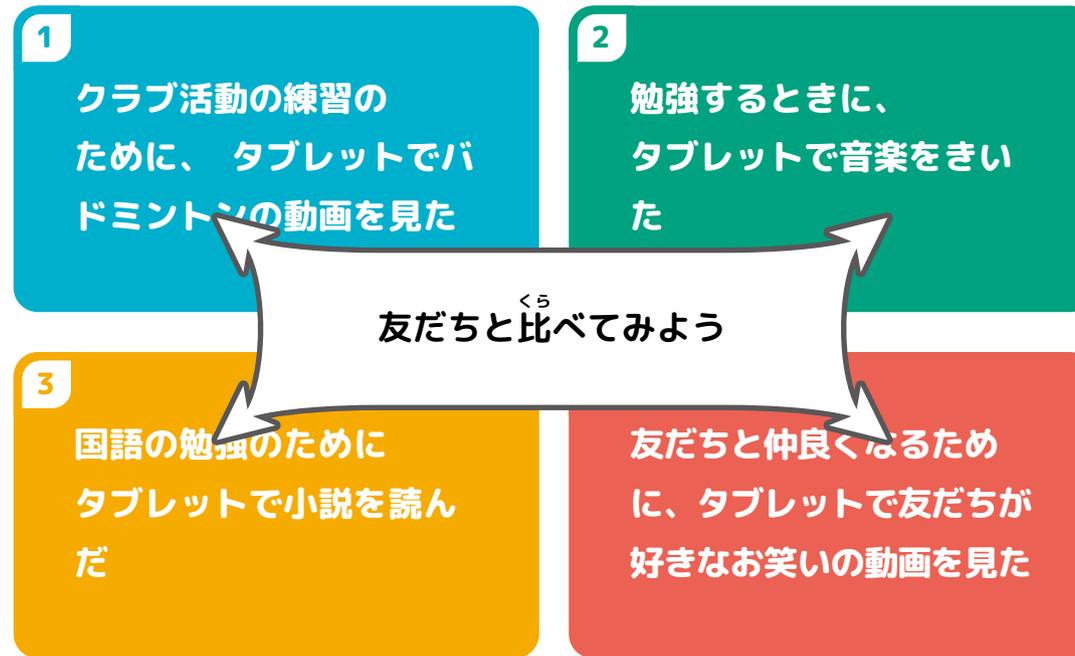
3  
国語の勉強のために  
タブレットで小説を読ん  
だ

4  
友だちと仲良くなるため  
に、タブレットで友だちが  
好きなお笑いの動画を見た

学習の目的と言える **A**

**B** 学習の目的とは言えない





## ★ スキルのポイント

タブレットを家庭に持ち帰ると、自分で「どこまで利用するか」を決めることになります。

すべてのケースを挙げて、「どこまでが学習の範囲です」と決めることはできません。自分で、「どこまでが学習の範囲かな」と考え、学習の目的でタブレットを使うようにしましょう。

例えば、「もし学校の授業や休み時間だったら、そのことは許されるのかな？」と考えてみると、「学習の目的」の線引きが考えやすくなります。

# 新しくチャレンジしたいことは？

ゲームやSNSで遊ぶことも楽しいですが、その他にも新しくチャレンジしたいことを考えてみましょう。

- 1 **体を動かす**  
サッカー、野球、バレー…
- 2 **自然**  
しぜん  
こんちゅうさくしゅう、キャンプ…
- 3 **見学**  
はくぶつかん、びじゅつかん  
博物館、美術館…
- 4 **料理**  
りょうり  
新しい料理、おかし作り…
- 5 **育てる**  
やさい  
花、動物、野菜…
- 6 **考える**  
しょうぎ  
パズル、将棋…
- 7 **つくる**  
しゅげい  
手芸、プラモデル…
- 8 **のんびり**  
読書、お風呂…
- 9 **見る**  
えいが  
映画、ドラマ…
- 10 **話す**  
ともだち、ちいま  
新しい友達、地域の人…
- 11 **出かける**  
買い物、名所…
- 12 **食べる**  
りょうり  
新しい料理、新しいおかし…

ひとりでやってみたい **A**

**B** ともだち、いっしょ  
友達や家族と一緒にやってみたい

1

### 体を動かす

サッカー、野球、バレー…

2

### しぜん 自然

さいしゅう  
こんちゅう  
こんちゅう採集、キャンプ…

3

### 見学

はくぶつかん びじゅつかん  
博物館、美術館…

4

### りょうり 料理

りょうり  
新しい料理、おかし作り…

5

### 育てる

やさい  
花、動物、野菜…

6

### 友だちとくらべてみよう

パス

ゲル…

8

### のんびり

読書、おふろ…

9

### 見る

えいが  
映画、ドラマ…

10

### 話す

ともだち ちいま  
新しい友達、地域の人…

11

### 出かける

買い物、名所…

12

### 食べる

りょうり  
新しい料理、新しいおかし…

## ★ スキルのポイント

みなさんは、スマホやタブレット、ゲームでどのくらいの時間あそんでいるでしょうか。

もし、その時間を新しいことにチャレンジする時間にしてみたら、どのようなことができるでしょうか。

自分だけでなく、**友達**と一緒にやってみたいこと、**家族**と一緒にやってみたいことも考えてみましょう。



# ついついルールをやぶってしまうときは

あなたの家庭には、「宿題などのやることが終わったら、30分だけ動画を見てもよい」というルールがあります。でも、ついつい30分を超えて動画を見てしまうときがあります。

次の①～④のキーワードを使って、自分だったらどんな時に30分を超えて動画を見てしまうかを考えてみましょう。また、A～Dのキーワードの中から、自分ができるような工夫を1つ選んでみましょう。

1 続きが気になる

2 きりが悪い

3 むちゅう 夢中になってしまう

4 だれ 誰も注意してくれない

A 時計やタイマーを使う

B じどうさいせい 自動再生をオフにする

C リビングで見るようにする

D さいせいじかん かくにん 最初に動画の再生時間を確認する

ルールを <sup>やぶ</sup> ってしまう理由	ルールを守れるようにする工夫
例) ④ <small>だれ</small> 誰も注意してくれない	例) C. リビングで見るようにする

かいどうれい  
解答例

ルールを <sup>やぶ</sup> 破ってしまう理由	ルールを守るようにする工夫
例) ④ <sup>だれ</sup> 誰も注意してくれない	例) C. リビングで見るようにする
① <sup>続き</sup> 続きが気になる	B. 自動再生をオフにする
② <sup>きり</sup> きりが悪い	A. 時計やタイマーを使う
③ <sup>夢中</sup> 夢中になってしまう	D. 最初に動画の再生時間を確認する

★ スキルのポイント

ルールを決めても、ついついやぶってしまう時はあるかもしれません。その時は、**どんな時に自分がやぶってしまうのかを考えるとよいでしょう。**

もし、次が気になるなら、動画の「<sup>じどうさいせい</sup>自動再生」をオフにする、集中して時間がわからないなら、時計を自分の見えるところにおいて、アラームをかけるなど、**どんな時に自分がやぶってしまうのかを意識して、その<sup>たいさく</sup>対策を考えてみましょう。**



楽しいゲームをやめたり、勉強をはじめたりするのは、なかなか大変です。  
 あらかじめ、ゲームをやめるためのスイッチ（きっかけ）や勉強をはじめめるスイッチ（きっかけ）を考えてみましょう。

<p><b>例1</b> 「短いもの」をはさむ</p>	<p>「ゲーム→勉強」ではなく、「ゲーム→音楽を1曲だけ聞く→勉強」のように短くできる楽しいものをはさむ</p>
<p><b>例2</b> 「とりあえず」から始める</p>	<p>とりあえずペンを持つ、とりあえず座る、とりあえず一行だけ書いてみる</p>
<p>ゲームをやめるためのスイッチ（きっかけ）</p>	
<p>勉強をはじめめるスイッチ（きっかけ）</p>	



<p><b>例1</b> 「短いもの」をはさむ</p>	<p>「ゲーム→勉強」ではなく、「ゲーム→音楽を1曲だけ聞く→勉強」のように短くできる楽しいものをはさむ</p>
<p><b>例2</b> 「とりあえず」から始める</p>	<p>とりあえずペンを持つ、とりあえず座る、とりあえず一行だけ書いてみる</p>
<p>ゲームをやめるためのスイッチ（きっかけ）</p>	<p style="text-align: center;">友だちと<sup>くら</sup>べてみよう</p>
<p>勉強をはじめるスイッチ（きっかけ）</p>	

★ スキルのポイント

だれかに言われずに、自分でゲームをやめたり、勉強をはじめたりする力を「<sup>じりつ</sup>自律」と言います。いつまでもだれかが「やめなさい」「やりなさい」と言ってくれるとは<sup>かぎ</sup>限りません。自分でやめたり、はじめたりするためには、そのためのスイッチ（きっかけ）が<sup>じゅうよう</sup>重要です。どんな<sup>くふう</sup>工夫ができるか、<sup>ともだち</sup>友達と<sup>きょうゆう</sup>共有してみましよう。





## 家で使う

### まとめ

#### よき使い手になるために

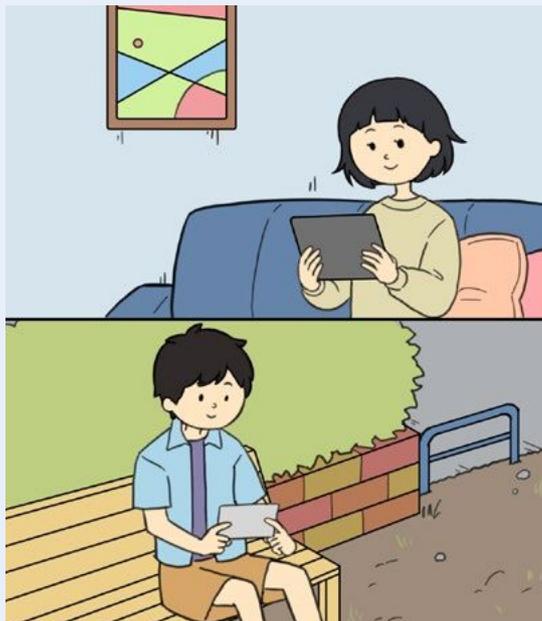
「家で使う」ためには、家庭でルールを決めておくことが重要になります。タブレットを学習の目的として使うために、どんなルールがあればよいか、家庭で話しあってみましょう。また、ルールを決めるだけでなく、「どんな時にそのルールを破やぶってしまうのかな」「どんな工夫をすれば、そのルールを守れるのかな」と考えてみるとよいでしょう。

#### チェックしてみよう

- 私は、練習のための動画を上手とに撮ることができる
- 私は、自分の行動をプログラミングで表すことができる
- 私は、「学習の目的」かどうかを判断はんだんして使うことができる
- 私は、ゲームやSNS以外いがいにも新しくチャレンジしたいことがある
- 私は、「家庭のルール」を守って、工夫して使うことができる
- 私は、ゲームをやめたり、勉強をはじめたりするために、工夫くふうすることができる



## これからの社会では



学校で学習したことを、家庭で引き続き学習することができるのはなぜでしょうか。これまで、<sup>じょうほう</sup>情報は手元のタブレットに<sup>ほぞん</sup>保存され、<sup>しより</sup>処理されていましたが、インターネット上に<sup>ほぞん</sup>保存し、<sup>しより</sup>処理することで、スマホでも家のタブレットでも、学校でも家庭でも同じデータやサービスを利用することができます。これを「クラウド」と言います。

例えば、動画共有<sup>きょうゆう</sup>サイトでは、家のタブレットで見た動画を、家の外でスマホを使って見ても、その動画の続きから見ることができます。これからの社会でも様々なクラウドサービスが登場し、どんな場所でも同じように学習や仕事ができるようになるでしょう。

調べてみよう

クラウドを利用したサービスやアプリには、どのようなものがあるだろうか。

考えてみよう

クラウドを利用したサービスやアプリが広がった場合、どんな問題が起きるだろうか？